

石材用洗浄剤(酸性タイプ)

ビートル

最新のカatalog・施工要領書の情報はホームページをご確認ください。

<https://www.miyaki.com>

用 途

■ 御影石・タイル・擬石・コンクリート等の水アカ・鉄サビ・温泉スケール・エフロレッセンス（白華）の除去。

使用 方法

- ① 施工面のゴミ・ホコリ等を予め除去してください。
 - ② 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
 - ③ 施工面全体を水で充分に濡らしてください。予め水を吸収させることが目地の保護（養生）になります。
 - ④ 汚れに応じてビートルの原液～5倍希釈液（水道水にて希釈）をスコッチブライト・薬品用ハケ・ブラシ・ローラー等で塗布してください。
 - ⑤ 塗布後、すぐにスコッチブライト 7447（3M社製）やブラシ等で**こすりながら**充分に水洗いをしてください。汚れが除去しにくい場合は、5～10分程度置いた方が効率よく除去できる場合もあります。（ただし、時間を置くことでタイルがヤケて艶ぼけすることがありますのでご注意ください。）
- ※ 高圧洗浄機を使用すると効率的です。
- ※ 濃い濃度での一度洗いより、薄い濃度での2～3度洗いの方が良い仕上がりが得られます。夏場は特に反応が早い為、施工面積を細かく区切って使用してください。（タイルがヤケる可能性があります。）
- ※ ビートルは酸性タイプの洗浄剤ですので、中和が必要な時は弊社酸性洗浄剤用中和剤『ソフター』をご使用ください。
- ※ 保護剤を塗布する場合、洗浄剤が残留していると密着不良を起こします。洗浄後は充分に水洗いをして、充分に乾燥させてから塗布してください。
- ※ 中和した後は充分水洗いしてください。



施工前



施工後

使用上の注意

- ① 施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読み、ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。
本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。
- ② エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。
- ③ ビートルを塗布したまま長時間放置しておくで基材を傷める恐れがありますのでご注意ください。
- ④ 大理石・テラゾーには使用しないでください。鏡面仕上げの石材や施釉タイルに使用すると艶がなくなります。
- ⑤ ガラス・アルミサッシ・金属等を腐食しますので、付着したときは速やかに水洗いをしてください。
- ⑥ 水道水以外のものと混合しないでください。
- ⑦ ビートルは、酸性の洗浄剤ですので、塩素系漂白剤と一緒に使用しないでください。塩素ガスが出て危険です。
- ⑧ 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上で使用ください。
植栽には特に前もって土壌、植栽全体に水を充分かけてから、ブルーシート等で養生してください。作業後も再度植栽全体に水を充分かけてください。
- ⑨ 作業する時は換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
- ⑩ 必ず適切な保護具（ゴム手袋・保護メガネ・防毒マスク等）をお使いください。
- ⑪ 口や目に入ったとき、手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをし、医師の診察を受けてください。
- ⑫ 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑬ 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- ⑭ 取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- ⑮ 用途以外には使わないでください。施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

※ 作業及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。

※ 排水・臭い・揮発ミスト・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。

● ホルムアルデヒドを含有する原料は一切使用していません。

● 製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。

業務用

40・180



製品有効期限：未開封冷暗所保管で製造より1年

標準使用量（原液使用時） 5～10㎡/ℓ

※ 使用量は基材によって多少異なります。



株式会社ミヤキ ■ 取扱店

本 社：福岡市中央区大手門1-2-23-1105
TEL 092-713-0001 FAX 092-741-8606
須恵工舎：福岡県糟屋郡須恵町植木1341
TEL 092-937-3008 FAX 092-931-8081
<https://www.miyaki.com>

営業所

札幌、仙台、新潟、東関東、東京第一、東京第二
東京第三、神奈川、埼玉、静岡、名古屋、大阪第一
大阪第二、広島、福岡